

160403

平成 28 年 4 月 1 日

糖尿病・代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の  
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病足潰瘍患者の下肢切断および糖尿病足感染症による死亡に対する Toe-brachial index (TBI) の影響: Ankle-brachial index (ABI) との比較

[研究機関] 東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科

[研究責任者] 東京女子医科大学 第三内科学 教授 内潟 安子

[研究の目的] 糖尿病足潰瘍患者を対象とし、下肢切断および糖尿病足感染症による死亡に対する TBI の影響を ABI と比較検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当科フットケア外来へ足潰瘍を主訴に通院した糖尿病患者さんで、平成 20 年 1 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日の間に TBI、ABI 検査を受けた方

※ABI 検査（足関節上腕血圧比）は足首と上腕の血圧を測定し、その比率（足首収縮期血圧÷上腕収縮期血圧）を計算したものです。一般に腕の血圧に比べ、足の血圧は高い値を示します。ABI はほぼ正常は 1.00～1.29 の範囲を示しますが、これより低値の場合、足に向かう動脈の内径が狭くなっていることが疑われ、血管の狭窄や閉塞などが推定できます。TBI 検査（足趾上腕血圧比）は、足趾と上腕の血圧を測定し、その比率（足趾収縮期血圧÷上腕収縮期血圧）を計算したもので、ABI 検査よりは末梢の血液循環を調べる検査です。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理学検査、手術記録）、糖尿病、末梢動脈疾患、下肢切断などの治療経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病・代謝内科

担当医師 井倉 和紀

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941